

①久慈病院の標榜診療科は20科あるが医師の充足状況を示せ。②医師確保に向けた市の取り組み状況を示せ。③今年度の医師確保対策のための予算はどのくらいか。

市長は次のように答弁しました。

①正規医師が在籍するのは15科、常勤医師が不在の診療科は5科。

②県立久慈病院の医師充足は最重要課題であり、県等に対し強く要望している。また、久慈保健所が実施する市内の中学生を対象とした研修医による出前講座に参画し、将来の人材確保に努めている。

③県と市町村が共同で実施する市町村医師養成事業の負担金に280万8000円を計上している。

はしかみ洋子議員は関連質問で、医師不足による住民の不安と切実な要求を紹介しながら、国がすすめる“公立病院・公的病院つぶし”に対して住民とともに反対の声をあげていくべきではないかと質問しました。

市側は、地域医療を保つために苦労しながら取り組んでいるが、国に対しても強く要望していくと答えました。

(※20科一消化器内科・循環器内科・脳神経外科・小児科・外科・整形外科・脳神経内科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・放射線科・歯科口腔外科・リハビリテーション科・内科・呼吸器内科・皮膚科・耳鼻咽喉科・麻酔科・精神科)

「桜とカジノ」疑惑を追及
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

引き続き地域課題に取り組んでいきます

◆大沢田川の支障木は9月末に伐採してもらいました



◆2019年10月の台風19号で壊れた道路の調査をして市に連絡。応急処置で改善になりました。



下日当庵寺下

秋葉ゴミステーション前土砂流出



《信号機設置》
住民の願い、20年目で実現



信号機設置個所に立つ城内市議

小屋畑川の改修に関して

長内地区土地区画整理事業の再開問題について2点質しました。

①小屋畑川の抜本改修が喫緊の課題に浮上してきた。廃止された都市計画決定は再決定の道はあるのか。②二級河川小屋畑川の抜本的切替えについて県はどの様な考えを持っているか、市の方針はどうか。

遠藤市長は、①廃止された都市計画決定の再決定が制度上不可能ではないが、当時から25年経過し人口減少や物価の高騰、土地需要の減少など社会情勢は大きく変化しており、市財政を圧迫する区画整理事業は非常に困難だ。②県は現在、浸水範囲や洪水痕跡の調査をすすめており、調査結果や周辺の土地利用状況等を踏まえながら必要な対策を検討すると聞いている。市としては水害から住民を守るために河川改修事業を県に要望していく、と答えました。

中小企業振興策を具体的に

中小企業振興条例の第4条に「基本理念にのっとり中小企業の振興に関する施策を策定し実施す

る」とあるが、具体的施策を示せと質しました。

市長は、「現在、中小企業振興のために人材確保のためのキャリア教育の実施、融資制度の運用、新規創業に係る補助金の交付等を実施している。今後、関係機関と連携しながら具体的・体系的な施策の策定と展開に努めていく」と答弁しました。

総合運動公園について

総合運動公園構想について2点質問しました。①総合運動公園建設について財源を含めた進捗状況を示せ。②防災公園が完成し緑地の有効な活用が求められている。総合運動公園整備事業構想について見直しの必要はないか。

後教育長は、①平成29年度に策定した基本計画において総事業費を約75億6800万円と見込んでおり、整備財源の確保が最重要課題だ。国県等の補助金や充当可能な財源の可能性、さらには他の大規模事業との調整などを併せ検討中だ。②総合運動公園構想は平成27年度に策定し、それをもとに基本計画を取りまとめられており、現時点で見直しは考えていない、と答弁しました。